

平成 28 年(2016 年)11 月 28 日

宇部市長 久保田 后子 様

宇部市文化振興まちづくり審議会
会 長 福 田 隆 眞

宇部市文化振興ビジョン（第二次改訂版）について（答申）

私たち宇部市文化振興まちづくり審議会は、宇部市文化振興ビジョン（第一次ビジョン）の改訂について「宇部市文化の振興及び文化によるまちづくり条例」の規定に基づき、これまでの取組を踏まえて、次の 5 年間にどのような取組が必要なのかについて審議、調査するよう、本年 6 月 3 日に久保田市長から諮問を受けました。

本審議会では、これまで 5 回の会議を開催し、また、市民アンケートやワークショップを行い、10 人の委員が検討、協議を重ね、別添「煌めくまち 文化振興ビジョン（第二次改訂版）（案）」として、取り組むべき内容をまとめました。

第一次ビジョンの策定趣旨や基本目標「人と地域がきらめく 文化の薫るまち」は引き続き踏襲し、宇部市として独自の視点をもった文化振興のための施策を進めていくことが重要であると考えます。

第二次ビジョンへの改訂に当たっては、そのことを念頭に置きながら、事業の重点化や内容の見直しを行い、特に、平成 27 年度に初めて実施した「第 26 回 U B E ビエンナーレ×まちじゅうアートフェスタ 2015」については、宇部市の文化施策の新たな展開と評価し、第二次ビジョンの「重点アクション」の一つとして取り入れたほか、取組主体の明記をするなど、より実効性のある内容としました。

ここに、本審議会の総意として、市長に答申するものであります。

市におかれましては、市制施行 100 周年や、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに伴う「文化プログラム」の実施等も考慮しながら、引き続き、将来を担う子ども達の健やかな成長と心豊かな市民生活のため、文化による人づくりと地域づくりに積極的かつ継続的に取り組まれるようお願いするものであります。